

令和3年度 第2回学校運営協議会

令和3年12月8日（水）（授業見学・協議）

本校会議室において、第2回の学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会委員6名、学校側からは准校長、教頭、課長補佐、首席、各系列代表教諭が出席しました。今回の運営協議会では、授業見学をしていただいた後、各系列の取組みの進捗状況や「地域協働連携（グローバル型）」事業特例校の取組みについて説明し、本校の課題や方向性について議論しました。

内 容

1. 授業見学 13:10~15:00
2. 運営協議会 15:25~16:55
 - ① 准校長挨拶
 - ② 協議事項
 - ・ 授業見学について
 - ・ 授業アンケートについて
 - ・ 分掌等の取組み計画進捗状況について
 - ・ GS（グローバルスタディ）について
 - ・ 本校の課題について
 - ・ その他
 - ③ 連絡
 - 次回、第3回の開催 令和4年3月初旬予定

委員からの意見等

【授業見学】

- ・ 寒い中元気に取り組んでいた。収穫にかかわる座学がこれからにつながるものであった。
- ・ 農場での実体験はよいと思う。
- ・ 大根が立派だった。食の実習で料理（鍋）などがあってもよいと思った。
- ・ 農場では見学というよりも授業を受けている気分になった。これを地域住民にも開くとよいのではないか。
- ・ 農場の授業を生徒も先生もともに積極的に取り組んでいた。先生が生徒のやる気をうまく引き出していた。
- ・ ICT（電子黒板、プロジェクター）や Google を使用した授業を行うことが増え、言葉だけでなく動画や写真なども利用することで生徒がより理解しやすい環境となっている。
- ・ 書道では「自分の好きな字を書く」というのが印象的だった。留学生がきれいな字を書いていた。地元中学出身の生徒も頑張っていた。
- ・ 留学生が共に学べる環境は素晴らしい。日本における外国人の割合は、全国で1%、箕

面市で2%、能勢分校では5%である。

【協議】

- ・授業アンケートでは、1年生が現2年生に比べると下がっているがこれは学年カラーと考えられるかもしれない。
- ・好スコアに対して振り返る取組みは、一般企業においても行われていることでとても良い。
- ・生徒が作るアンケートはどうか。生徒からの提案も面白いのではないか。
- ・2回目のアンケートが年末では意味がないのでは。アンケート結果が年度内に反映されるとより効果があると思われる。
- ・各系列とも地域に密着している点がよい。
- ・世界の若者はSDGsに取り組んでいる。どれも重要な課題である。分校生にも地球市民として課題を捉えてほしい。分校の多彩な学びが将来的にはここにつながるというマップがあるとよいかもしれない。
- ・能勢分校のGSの取組みはどれもが素晴らしい。能勢町の課題をグローバル、グローカルな視点で取り組んでいる。今後に期待している。
- ・役場との連携が進んでいると感じた。先日の小学校6年生と中学校の先生を出合わせる取組みは高校生が企画したことに大きな意味があった。
- ・個々の研究、発表が発表会で終わるのではなく、将来につなげないといけない。
- ・里山留学制度の受け入れに同級生の家はどうか。
- ・田舎の家は、部屋はあるが、食事がネックになっている。
- ・原則3年というのも難しいのではないか。高齢者が多いので3年間の受け入れは難しい。1年単位なら可能性があるのではないか。
- ・課題探究や里山留学など、次々と新しい手が打たれているので、先生方は大変だと思うが、頑張ってもらいたい。委員の皆さんも多くの人に能勢分校の活動を知ってもらえるよう尽力してほしい。